

# ＜用語説明＞

参考1

名称	説明
旭川市生ごみマイスター	生ごみ堆肥づくり講師養成講座を修了した方で、各地域公民館等での講習会等を行っている。
YES!clean表示制度 (北のクリーン農産物表示制度)	道内で生産された農産物を対象に、農産物ごとに定められた化学肥料、化学合成農薬の削減など、一定の基準を満たした生産集団が生産・出荷する農産物に、マークと化学肥料等の栽培情報を表示する北海道独自の制度。
SDGs	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、2015年の国連サミットで採択された、先進国を含む2030年までの国際社会全体の開発目標。17のゴール(目標、それぞれに対応するアイコンがある。)と169のターゲット(下位目標)から構成されている。すべての関係者の役割を重視し、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範囲な課題に統合的に取り組むこととしている。 (各ゴールについては別紙参照。)
GAP (ギャップ:農業生産工程管理手法)	Good Agricultural Practiceの略。 農産物の安全を確保し、よりよい農業経営を実現するために、農業生産において食品安全だけでなく、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の方法のこと。
グリーンツーリズム	農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。旭川市におけるグリーンツーリズムの施設認定については、対象となる区域、施設の種類等が決まっている。
健口体操 (けんこうたいそう)	唾液の増量や飲み込みに使う筋肉を鍛えるための、のどのトレーニング。誤嚥防止や異物を吐き出す力の強化により、おいしく安全に食事を楽しめることを目指す。
3010運動 (さんまるいちまるうんどう)	宴会等における大量の食品ロスを減らすため、「最初の30分間と最後の10分間、皆で食べる時間を設けましょう」という運動。
HACCP (ハサップ)	衛生管理の手法で、Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。 事業者自らが、食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料入荷から製品出荷までの全工程の中で、それらの要因を除去・低減させるため特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとするもの。
8020運動 (はちまるにいまるうんどう)	平成元年から国と日本歯科医師会が推進している、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。20本以上の歯があれば食生活にほぼ満足できると言われ、生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえることを目指している。
PDCAサイクル	Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(又はAct, 改善)→改善内容を踏まえて再度、計画→実行……, という一連のプロセスを繰り返しながら内容の向上を図る手法のこと。
フレイル	年をとって心身のはたらき、社会的なつながりが弱くなったハイリスク状態のことで、要介護状態に至る前段階と位置付けられる。早めに気づいて適切な取組を行うことで、進行を防ぐとともに健康に戻ることができるとされている。